

# 春の全国交通安全運動が 4/6 (木) から始まります

## 交通ルールの遵守と交通マナーの実践を！

4月6日(木)から15日(土)までの10日間、春の全国交通安全運動が行われます。この期間は新入園・入学の時期です。新入園児や新入学児童・生徒の行動に注意し、交通事故から守りましょう。

危機管理課  
☎995-1817

### 春の全国交通安全運動

#### 【目的】

市民一人一人が、自らの交通安全に関する意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣付けることで、交通事故防止の徹底を図る

#### 【スローガン】

安全を つなげて広げて 事故ゼロへ

#### 【運動の基本】

子どもと高齢者の交通事故防止

～事故にあわない、おこさない～

#### 【運動の重点】

1. 歩行中・自転車乗用中の交通事故防止  
(自転車については、特に自転車安全利用五則の周知徹底)
2. 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
3. 飲酒運転の根絶
4. 安全確認「止まる・見る・待つ」の徹底

### 子どもと高齢者の交通事故防止

#### 子どもの交通事故防止

歩行中の子どもに多い交通事故は、道路横断中の事故です。信号機や横断歩道がない場所での横断中の事故や、交差点を右左折する車に巻き込まれる事故が多くなっています。信号機や歩道の有無にかかわらず、道路を横断するときは、安全確認を確実に行いましょう。歩行者の信号が青でも交差点には右左折する車が進入してきます。目の前の信号だけを見るのではなく、前後左右の安全を確認してから横断してください。

自転車に乗るときは、出合頭の事故に注意しましょう。大きな道路が交わる交差点だけではなく、住宅街の細い路地や、店舗、駐車場などから道路に出る時の事故も発生しています。自転車も乗れば車の仲間になります。車と同じように交差点では止まって確実な安全確認をしましょう。

#### 高齢者の交通事故防止

高齢歩行者の道路横断中の事故が多くなっています。道路を横断するときは、安全確認を徹底してください。

高齢者は、交通事故の被害者だけではなく加害者になるケースも増えています。加齢による体力や判断力の低下など、個人差はありますが高齢者特有の事情も影響しています。車を運転するときは、走り慣れた道路でも安全な速度と目視による確認を行いましょう。また、一時停止が必要な場所では確実に止まりましょう。安全確認を行い、自分の運転技術を過信せず、事故を起こすかもしれないという意識を持って運転しましょう。

#### 1 / 1日(木)から2/28(火)までの市内の 交通事故発生状況

件数	死者	傷者
69 (+ 25)	0 (0)	83 (+ 30)

市内では昨年同期と比べ、交通事故が56%増の69件(2月28日現在)発生しています。その多くは脇見運転などが原因の追突事故で、全体の40%以上を占めています。また、追突事故の半数が、国道246号の信号交差点付近で発生しています。特に裾野IC周辺と千福南交差点周辺で多発しています。追突事故を防ぐには、しっかりと車間距離をとり、運転に集中することです。「脇見運転」や「だろろ運転」は、絶対にやめましょう。

#### 市内の交通事故の特徴

##### 1. 追突事故

- ▶ 全体の事故の約半数をしめています。
- ▶ 追突事故の多くは国道246号で発生しています。
- ▶ 主な事故原因は脇見運転です。

##### 2. 出合頭事故

- ▶ 交差点や交差点付近で多く発生しています。
- ▶ 主な事故原因は安全不確認です。

